

# 青少年体験活動 ボランティア入門セミナーⅡ

平成28年9月23日(金)～24日(土)

## 【目的】

青少年教育の体験活動を支援するボランティアに求められる知識や技能を習得させ、本所におけるボランティア活動の充実を図る。

【参加者】 大学生19名

## 【プログラムの内容】

### 9月23日(金)

- 10:00 開講式、オリエンテーション
- 10:30 「青少年教育施設におけるボランティア活動」  
講師：本所職員
- 13:00 「青少年教育」  
講師：本所次長 今坂雅志
- 14:30 「ボランティア活動の技術」  
講師：本所職員
- 19:00 「ボランティア活動の意義」  
講師：本所職員

### 9月24日(土)

- 9:00 「安全管理の基礎的な技術」  
講師：赤十字救急法指導員
- 13:00 「青少年教育の現状と運営」  
講師：本所職員
- 14:00 「ボランティア登録」  
講師：本所職員
- 15:00 閉講式

## 青少年教育施設におけるボランティア活



参加者同士の関係づくりを行った後、本所でこれまで行ってきた先輩ボランティアの活動を知り、今後のボランティア活動への見通しを持ちました。

## ボランティア活動の意



野外炊飯を題材に、危険を想定し、回避するためにはどのような指導や声かけが必要かを考えました。続いて、ボランティアとして活動する際の支援者としての心構えや役割についても考えました。

## 青少年教育



現代の子供たちを取り巻く課題について考え、体験活動を通して子供たちに「生きる力」を育むことの必要性について学びました。

## 安全管理の基礎的な技術



## ボランティア活動の技



赤十字救急法指導員の方から心肺蘇生法やAEDの使い方を教えていただきました。さらに、子供が起こしやすい事故やケガに対応する方法を学びました。

## 青少年教育の現状と運営、ボランティア登



本所で行われている事業の目的や青少年施設として推進している活動の意味について学びました。また、今後のボランティア活動への参加方法などについても学びました。

野外炊飯でカレーを作りました。一つの活動をどのような流れで進めるのか理解し、子供達がいた場合にどのような危険があるかも考えました。後片付けの大変さや大切さについても体験を通して学ぶことができました。

### 【参加者の声】

ボランティア活動で大切なことが分かった。積極的にボランティアに参加したい。他の大学の人も交流していきたい。

### 【成果】

ボランティア活動への意欲を高めることができた。

### 【課題】

ボランティア活動での悩み等を相談しやすいように、自然の家職員との関係を一層深めていく。